

文部科学省先端研究施設共用促進事業
信州大学 「ナノカーボン産業拡大の為のカーボンバレー構築支援事業」
平成 23 年度 支援利用成果報告書

平成 24 年 5 月 14 日

所 属	アピックヤマダ株式会社
職 名	事業開発室 エンジニア
氏 名	小林 一彦
所在地	〒389-0898 長野県千曲市大字上徳間 90 番地
TEL	026-276-7725
FAX	026-276-4820

1. 課題番号 23-57
2. 利用課題名 薄膜および微細形状の観察/分析/特性評価とそれに関する試作設備の利用
3. 採択事業 「トライアルユース」
4. 利用施設名 ナノカーボン・デバイス試作・評価装置群
5. 利用の目的・内容
 - ・ 薄膜の膜厚測定
 - ・ 薄膜の断面方向の観察および成分分析等
 - ・ 微細形状の観察/分析/作製
 - ・ 薄膜および微細形状の特性評価
 - ・ 機能性薄膜、微細形状を製作する上で必要な試作設備の利用

6. 利用した装置

XPS、FE-SEM、FIB、EPMA

7. 利用の期間 平成 23 年 6 月 1 日～平成 23 年 11 月 30 日

8. 成果の概要（特許・製品化・共同研究への進展など）

- ・弊社の新たなプロセス技術の性能を理解でき、社外にアピールできた。

9. 社会・経済への波及効果の見通し

- ・希少材料の節約による省エネルギー化
- ・新たな薄膜生成方法の開発による低コスト化

10. 本報告書の公表



（公開を2年間延期することが可能です。その場合はここに「2年後に公表」とご記載ください。）

◆下記、アンケートにご協力をお願いいたします。

1. 今後の利用希望

今回でトライアルユースは終了だが、今後も積極的に利用したい。
共用促進の設備以外も(例えば、AFMなど)も利用したい。

2. ユーザーサポートで必要と考えられること

施設共用促進事業で出来ない事について、別な機関やメーカーの紹介。

3. 施設利用に係る感想・改善を希望すること

今後もこのような事業を続けてほしい。

4. 文部科学省の共用ナビ (<http://kyoyonavi.mext.go.jp/>) に対する感想・改善について

活用した 活用しなかった

感想など：

5. その他

この報告書の内容は公開されます。本学の施設を利用し成果が上がっている場合にはその事実がわかるようにご記載ください。ただし、非公開としたいノウハウなどは記載いただく必要はありません。秘密保持協定により本報告書の内容を公開するために所属長の了解を要する場合は以下に記名捺印ください。

本報告書の内容を公開することに同意いたします。

(申込者の所属長の) 所属名 アピックヤマダ株式会社

職 名 事業開発室 室長

氏 名 押森 広仁



以上

送付先

380-8553 長野市若里 4-17-1 信州大学 カーボン科学研究所

共用促進事業運営委員長 教授 橋本佳男

tel: 026-269-5230

fax: 026-269-5388

e-mail: hashimt@shinshu-u.ac.jp